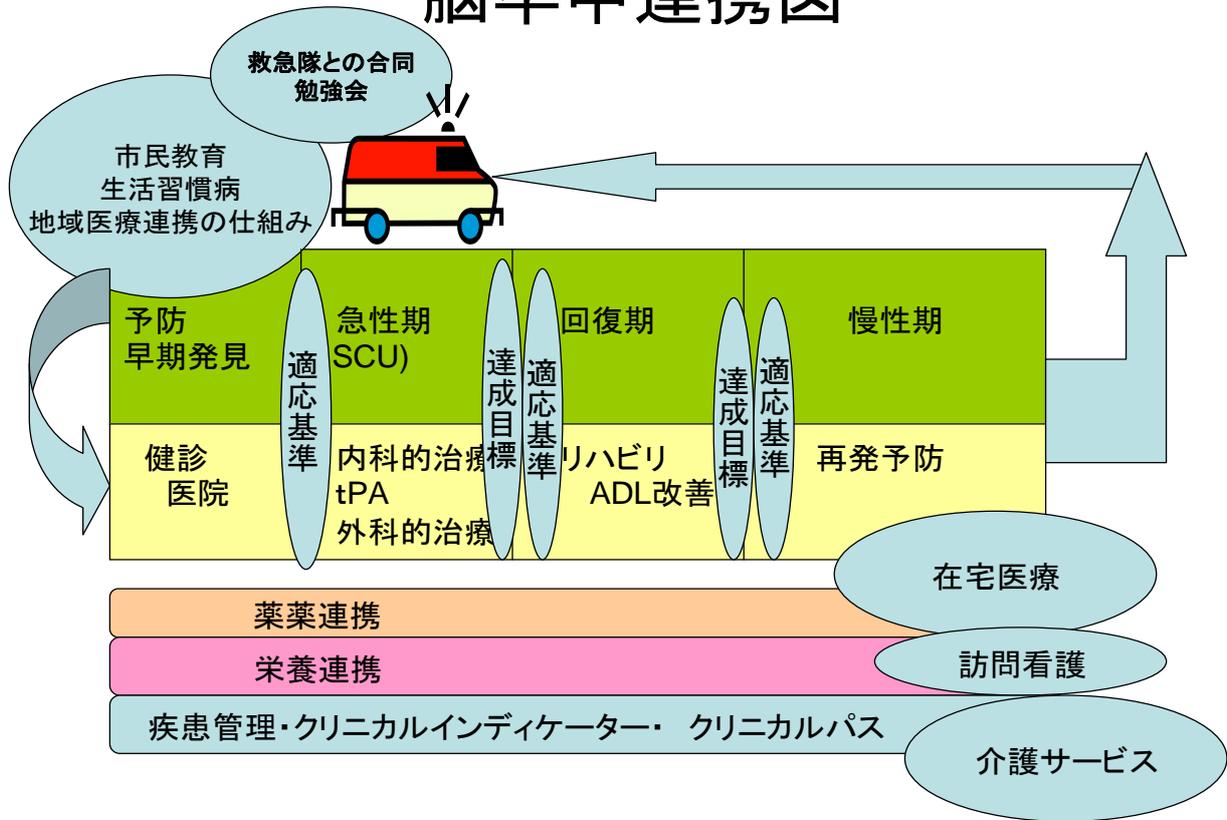


# 脳卒中連携図



医療の質を求められている現在、国は、医療政策のひとつとして、「病院や施設の機能(役割)を分担し、病気の経過に合わせ、その時期に必要な専門的治療を行なうこと」を打ち出しています。当院は、横浜市東部地域の第3次救急病院かつ急性期病院として機能しています。第3次救急病院とは、命の危険を伴う患者様を受け入れる病院のことです。その中で私たちは、医療の評価をきちんと行い、無駄な医療を行なわないことなどを目標とし、必要な職種が全て関わるチーム医療で、患者様ご家族にわかりやすい医療を提供できるよう、日々努力を重ねております。

急性期治療後は基本的に在宅を勧めておりますが、しかし、医師をはじめとしたチームスタッフにより、日常生活動作にさらにリハビリが必要と、判断された方には、回復期リハビリテーション病院を検討させて頂く場合もあります。また転院にあたっては、先方の審査がございますことを予めご理解いただきますようお願いいたします。

なお詳細については入院後、今後の経過の中で、ご説明させていただきます。

済生会横浜市東部病院

地域医療連携室

クリニカルパス管理室